

「どだなだ」… お互いの仕事の様子や子どもたちの状況を気軽に聞き合い
業務の分担や平準化、支え合える職場環境にしましょう。

夏休み明けから始められる取組み紹介

事例紹介

『学校における働き方改革の取組み手引【改訂版】(平成 31 年 1 月)』より

『かえるボード』の活用事例

「早く帰りたくても、先輩や同僚がまだ仕事をしていて帰りづらい！」
そんな時、あらかじめその日の帰宅予定時間を「かえるボード」に掲示しておくことで、
気兼ねなく帰りやすい環境を作ることができます。また、事前に同僚の帰宅予定時間が
わかっているれば、打ち合わせ等の予定も立てやすくなります。

夏休み明けのこの機会に取組んでみては
いかがでしょうか。学校全体での取組みが難
しくても、小さなグループ(分掌や学年規模)
で取組むことも可能です。

右の写真は、谷地中部小学校で昨年度から
取り組んでいる事例です。2週間分の退庁予
定を決めておき、定時退庁を実践できた日は
マグネットを赤色に裏返しているそうです。

このほか、他県の学校では、下記のように
帰宅予定時間を表示するマグネットボード
を活用しているところもあるようです。

《帰宅時間指定型カエル 4 パターン (例)》

- ① すぐカエル (定時で帰宅)
- ② そろそろカエル (18:00 頃までに帰宅)
- ③ ぼちぼちカエル (19:30 頃までに帰宅)
- ④ ひっくりカエル (帰宅は 20:00 以降になりそう)

参考：『取組み手引 (改訂版)』 < 事例 5-109 >



YouTube 動画『働き方改革』(文部科学省作成)

『～公立学校の校長先生のための～やさしい！勤務時間管理講座』

「http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/hatarakikata/1414532.htm」

⇒ 計 3 回 … 第 1 回「公立学校の教師の勤務時間管理の基本」

第 2 回「公立学校の教師の時間外勤務」

第 3 回「上限ガイドラインと変形労働時間制～中教審答申を受けて～」



※ 上記のほか、(独立行政法人)教職員支援機構提供の「校内研修シリーズ」もございます。

「<https://www.nits.go.jp/materials/intramural/050.html>」よりご覧ください。

(裏面：長野県での取組み事例)

わたしたちの

働きかた 2018

働き方改革通信
平成30年6月12日

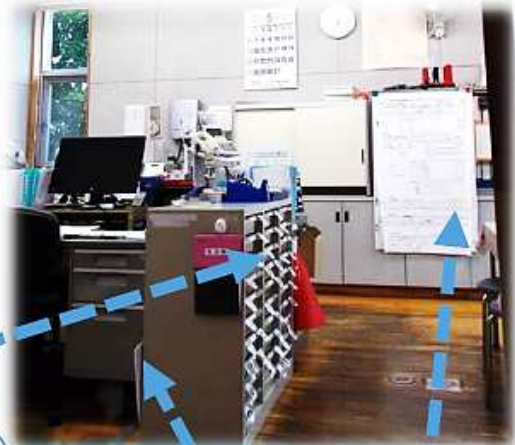
発行：長野県教育委員会
(義務教育課)

学校事務室の風景

この学校を訪問し、ふと目にした風景に、業務改善につながる工夫を見つけました。



文房具を借りに、
たくさんの方がやって
きて「探す」けれど、
引き出しの中に何が
入っているか、文字で「読
む」のではなく絵で「見
る」ことで、パッと見
つけられる



全校生徒氏名を1枚に並べてラミネート「この一覧を事務室に置いたのは、シンプルだけど、電話対応等で見る頻度が高く、意外と便利」とのこと
先生方にも好評

シンプル、見える化、UD化

使う人の身になって、見つけやすいよう表示された引き出しは、まさにユニバーサル・デザイン（UD）。しかもシンプル。

使う人みなさんの業務改善にひと役かっています。

ほかにも
いろいろ

拡大した校舎配置図には、
修繕が必要だったり危険個所になりそうだったりする“気づき”が、付箋メモで貼ってある

長野県教育委員会（義務教育課）『わたしたちの働きかた 2018』（働き方改革通信 H30.6.12）より引用させていただきました。

今回の通信では、実際の実践について、写真を用いて、紹介いたしました。谷地中部小学校さん、ご協力いただき、ありがとうございました。うちの学校では、こんな実践をしているよ、という情報もお待ちしております。